

昭和十三年八月八日

（各國新聞論調概要號外）

張 鼓 峰 事 件 特 輯 號 (二)

外 務 省 情 報 部

（執務參考用ニ付取扱注意アリタシ）

（Faint vertical text columns, likely bleed-through from the reverse side of the page, containing news reports and commentary.)

昭和十三年八月八日

（各國新聞論調概要號外）

張 鼓 峰 事 件 特 輯 號 (二)

外 務 省 情 報 部

（執務參考用ニ付取扱注意アリタシ）

一、第二次世界大戦と日本

二、戦後日本の政治と経済

三、戦後日本の外交と国際関係

四、戦後日本の社会と文化

五、戦後日本の教育と科学技術

目次

A 支那

- △紛争重大化ノ危険ハ充分
- △日蘇ハ如何ニ解決スヘキカ

B 米 國

- △獨逸ハ日本ノ爲ニ戦ハス
- △戦争ノ危機ハ偶發的事件ノ發展
- △双方カ退カネハ戦争ニ展開
- △日蘇開戦ハ日支ノ均勢ニ大影響
- △事件ノ重大化ヲ防ク道アリ
- △蘇聯ノ對歐關係カ重要點
- △歐亞ヲ以テセ又鬭争ニ捲込ム事件
- △乾谷子事件ヨリ危険ナ形勢
- △國境事件ノ今後ノ成行カ見物

C 佛 國

- △支那事變ニ切リヲツケルカ肝心

○ 滿 洲

- △ 滿洲地方に於ける各派の勢力の消長
- △ 滿洲地方の治安の維持と警察の活動
- △ 滿洲地方の経済の発展と貿易の盛況
- △ 滿洲地方の文化の進歩と教育の普及
- △ 滿洲地方の交通の便化と道路の修築
- △ 滿洲地方の衛生の改良と疾病の予防
- △ 滿洲地方の労働の組織と労働者の権利
- △ 滿洲地方の民族の融和と多民族の共生
- △ 滿洲地方の環境の保護と自然資源の持続
- △ 滿洲地方の社会の安定と平和の維持
- △ 滿洲地方の国際関係の改善と外交の進展
- △ 滿洲地方の歴史の検証と未来の展望

○ 支 那

- △ 支那地方の政治情勢の動向
- △ 支那地方の軍事動向と軍閥の争い
- △ 支那地方の経済の不振と通貨の暴落
- △ 支那地方の社会の混乱と民衆の苦難
- △ 支那地方の文化の衰退と知識階級の没落
- △ 支那地方の交通の遮断と物資の不足
- △ 支那地方の衛生の悪化と疫病の蔓延
- △ 支那地方の労働の搾取と農民の貧困
- △ 支那地方の民族の対立と内戦の激化
- △ 支那地方の環境の破壊と自然災害の頻発
- △ 支那地方の国際関係の悪化と外交の孤立
- △ 支那地方の歴史の再評価と民族意識の覚醒

D 伊 國

E 蘇 聯

- △ 事態カ如何ニナツテモ佛ハ無關係
- △ 株式相場ニ大反動ナシ
- △ 日本ノ一撃テ引込ムノカ蘇聯
- △ 侵略者ニハ舉國祖國防禦
- △ 全國舉ツテ反「ファシヨ」氣勢
- △ 日本ノ挑戦繼續テ重大結果
- △ 支那回教徒、反日戦線結成
- △ 驚クヘキ反日記事ヲ報道
- F ポーランド
  - △ 對米危険ニ自重スル日本
  - △ 紛争ノ將來ノ見透ハ困難
- G スイス
  - △ 盧溝橋事件ノ二ノ舞カ
  - △ 極東ノ紛争ニハ絶對不干與

ロンドン

△英米の交渉は、最近の進展は、  
△英米の交渉は、最近の進展は、

ワシントン

△米の交渉は、最近の進展は、  
△米の交渉は、最近の進展は、

△米の交渉は、最近の進展は、

△米の交渉は、最近の進展は、

△米の交渉は、最近の進展は、

ワシントン

△米の交渉は、最近の進展は、  
△米の交渉は、最近の進展は、

△米の交渉は、最近の進展は、

△米の交渉は、最近の進展は、

H スエーデン

△「ブリュッセル」の出方ヲ重視

△問題ノ鍵ハ「ブリュッセル」ニ

△對蘇戦ハ日本ノ自殺行爲

I ス페인 (フランコ側)

△日本ノ戦争準備充實ニ驚ク蘇聯

△世界ノ危機ハ「コミンテルン」ヨリ

J アルゼンチン

△双方共ニ開戦ハ不可能カ

概要追加

(一)

A 英國

△恐ラク戦争迄ニ發展スマイ

B 米 國

△結局ハ武裝的休戦テ落着カ

△ 蘇聯ハ海軍力ヲ増強スルニ注力スル  
△ 蘇聯ハ大規模ノ戦争ニ発展セシムル  
△ 蘇聯ハ戦後ノ世界ニ覇權ヲ樹クニ志スル

△ 蘇聯ハ戦後ノ世界ニ覇權ヲ樹クニ志スル  
△ 蘇聯ハ戦後ノ世界ニ覇權ヲ樹クニ志スル  
△ 蘇聯ハ戦後ノ世界ニ覇權ヲ樹クニ志スル

△ 蘇聯ハ戦後ノ世界ニ覇權ヲ樹クニ志スル  
△ 蘇聯ハ戦後ノ世界ニ覇權ヲ樹クニ志スル  
△ 蘇聯ハ戦後ノ世界ニ覇權ヲ樹クニ志スル

△ 蘇聯ハ戦後ノ世界ニ覇權ヲ樹クニ志スル  
△ 蘇聯ハ戦後ノ世界ニ覇權ヲ樹クニ志スル  
△ 蘇聯ハ戦後ノ世界ニ覇權ヲ樹クニ志スル

C カナダ

△ 大規模ノ戦争ニ発展セヌ  
△ 日本ハ事變ノ擴大ヲ挑發セヌ  
△ 日蘇共ニ戰意ヲ缺ク  
△ 蘇聯ノ牽制ヲ長引ク日支戰  
△ 今こそ蘇聯對日挑戰ノ潮時

D 蘇聯

△ 戰況ノ發表ヲ差控フ

E ポーランド

△ 蘇聯最高軍事會議テ和戰論  
△ 最高會議テ和戰兩論ハ解決

F オランダ

△ 一方カ折レネハ多分ニ戦争ノ可能性

G 蘭印

△ 事件ノ遷延テ支那援助  
△ 孫科ノ莫斯科訪問ノ効果カ

△ 蘇聯側發表ノ地圖ニ疑問  
△ 日本ヨリ交戦中止ノ新提案  
△ 無宣戦ヲ見習ツタ蘇聯

△ 日佛通商協定ヲ望ム  
△ 南方諸國ノ危機去ルカ  
I アルゼンチン

△ 蘇聯側發表ノ地圖ニ疑問  
△ 日本ヨリ交戦中止ノ新提案  
△ 無宣戦ヲ見習ツタ蘇聯

△ 日佛通商協定ヲ望ム  
△ 南方諸國ノ危機去ルカ  
I アルゼンチン

△ 蘇聯側發表ノ地圖ニ疑問  
△ 日本ヨリ交戦中止ノ新提案  
△ 無宣戦ヲ見習ツタ蘇聯

△ 日佛通商協定ヲ望ム  
△ 南方諸國ノ危機去ルカ  
I アルゼンチン

H シアム

△ 日佛通商協定ヲ望ム

△ 南方諸國ノ危機去ルカ

I アルゼンチン

△ 蘇聯側發表ノ地圖ニ疑問

△ 日本ヨリ交戦中止ノ新提案

△ 無宣戦ヲ見習ツタ蘇聯

概要追加 (二)

A 米 國

△ 日本ヲ操ル黒幕ノ處分ハ如何

B 獨 逸

△ 世界平和攪亂ノ放火

△ 日本ニ挑戦スル蘇聯ノ肚ノ中

△日蘇...

△米...

△日蘇...

△日蘇...

△日蘇...

△日蘇...

△日蘇...

△日蘇...

△紛争ハ數日中ニ解決サレン  
△佛外哲、在佛蘇聯大使會談

C 佛 國

△佛紙論調一束

D 蘇 聯

△北樺太新聞初ノ報道

E ス イ ス

△關東軍獨自ノ行動ニ注意  
△從來ノ戰略ヲ變更シタ蘇聯

F 濠 洲

△日蘇何レカ先ニ開戦スルカ  
△日本ハ獨逸ノ尻押テ動クカ  
△日蘇兩國ノ不利ト有利

29, 30

A 支那

△紛争重大化ノ危険ハ充分

蘇聯ハ戦争ヲ欲シナイカラ、外交交渉ニ依ル解決ハ今猶望カアル。然シ列強中ニハ紛争ニ干渉又ハ調停スルモノハナク、却テ一方ヲ聲援スルモノモアルカラ、重大化ス危険ハ充分アル（八月四日香港モーニング。ポスト紙）

△日蘇ハ如何ニ解決スヘキカ

日蘇兩國ハ事態ヲ重大化サセヌタメ、兩國前線ノ將校ヲ自重サセ、既ニ手遅レトナツタ。戦争不可避ノ場合ハ之ヲ極東ニ限定スルヤウ努力シ、外交ニ依ル解決カ望薄トナツタ場合ハ、英米佛三國ハ共同聲明ヲ發シテ、紛争ニ依リ自國ノ政治的計畫ヲ遂行セントスル者ヲ抑フヘキテアル（八月四日香港テレグラフ紙）

B 米國

△獨逸ハ日本ノ爲ニ戦ハス